平成３０年１１月１日

各　位

北海道鉄道観光資源研究会

北海道鉄道観光資源研究会展示博覧会『北海道の鉄道　過去、現在、未来』
情報発信へのご協力のお願い

晩秋の候、ますますご健勝のことと存じお慶び申し上げます。
さてこの度、赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）において、北海道発展の礎となった北海道の鉄道の歴史を紹介する展示博覧会「北海道の鉄道 過去、現在、未来」（北海道みらい事業）イベントを開催することとなりました。
本企画では、北海道の鉄道の歴史パネル展示をはじめ、鉄道史料の展示、鉄道に関するさまざまな分野で活躍されている有識者らを招いてのローカル鉄道活性化フォーラムや鉄道観光資源活用セミナーの開催といった、新たにステージイベントも取り入れるなど、昨年よりもさらに充実した内容での開催となります。
つきましては、本事業の趣旨にご賛同いただき、イベント開催のポスター掲示や周知にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1　事業概要について
◇名　称　：北海道鉄道観光資源研究会展示博覧会「北海道の鉄道　過去、現在、未来」
（※北海道みらい事業）

◇日　時　：平成 30 年 11 月 10 日(土)・11 日（日）　10 時～18 時　※最終日は 16 時まで

◇場　所　：赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）　2 階 1 号会議室・2 号会議室（中央区北 3 条西 6）

◇企画内容：
・北海道の鉄道の歴史パネル展、北海道鉄道地図展示
・各種セミナー、フォーラム（一部、都市計画学会北海道支部セミナーとして併催）
・北海道の鉄道の歴史を紹介する「鉄道模型ジオラマ」展示
・711 系電車 座席シート 展示　など

◇ウェブ　：https://rail-hokkaido.net/

◇主　催　：北海道鉄道観光資源研究会

2　協力依頼内容
◇イベントポスターの掲示、チラシの配布
◇貴団体のホームページや Facebook などでの広報協力　等
※可能な範囲でのご協力で構いませんのでよろしくお願いいたします。
※追加でチラシ設置していただける場合は、大変お手数ですが下記までご連絡をお願いいたします。

以上

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

北海道鉄道観光資源研究会 事務局（事務局長：長野）
札幌市中央区北２条西２丁目札幌２・２ビル 1F
TEL　080-4322-9219　　Mail nagano@hotbus.co.jp

Press Release

２０１８ 年 １１ 月 １ 日
北海道鉄道観光資源研究会

北海道みらい事業

北海道の鉄道史を、観て、聴いて、学べるイベント
『北海道の鉄道 過去、現在、未来』
展示博覧会を開催します。

このたび、北海道発展の礎となった鉄道の歴史を紹介する、北海道鉄道観光資源研究会展示博覧会「北海道の鉄道 過去、現在、未来」を、11 月 10 日・11 日の２日間、赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎・札幌市中央区北３条西６丁目）で開催いたします。

当会は、北海道内の鉄道資源を活かし、観光振興や地域活性化を目指して、さまざまな取り組みを行う任意団体です。これまでには、道内で活躍していた「711 系電車（赤電）」の移設保存をはじめ、鉄道資源の利活用に取り組む団体への協力や、道内にある鉄道遺構等の調査研究など、広く活動を展開しているところです。

本企画では、昨年好評を得ていたパネル展示に加え、全国各地で鉄道資源の利活用に携わられている有識者の方々をお招きし、さまざまな視点から『鉄道』を考えるセミナーやシンポジウムを開催いたします（一部、都市計画学会北海道支部セミナーと併催）。また、いまでは貴重となった活版印刷の特製来場記念入場券の配布や、鉄道模型ジオラマ展示など、子どもから大人まで気軽に楽しみつつも、北海道 150 年の歴史とともに歩んできた、北海道の鉄道の過去、現在、未来を、より深く学ぶことができることよう、さまざまな企画を予定しております。

記

北海道鉄道観光資源研究会展示博覧会「北海道の鉄道 過去、現在、未来」

平成 30 年 11 月 10 日(土)・11 日(日)
赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎） ２階１号会議室および２号会議室

お問い合わせ先
北海道鉄道観光資源研究会 事務局（事務局長 長野）
TEL 080-4322-9219 / Mail nagano@hotbus.co.jp
https://rail-hokkaido.net/

北海道鉄道観光資源研究会 展示博覧会

北海道150年事業
応援企画

北海道の鉄道 過去、現在、未来

開拓から現在に至る北海道発展の礎となった「北海道の鉄道の歴史」をご紹介します。

未開の大地を切り拓き、ひとともの営みを支えた鉄道。
鉄道の果たした役割や出来事を振り返り、これからの北海道を考える契機になればとの想いから企画しました。

撮影：上田哲郎

多彩なステージイベント（詳細裏面）

- 都市計画学会北海道支部セミナー
  テーマ：鉄道資産を生かしたまちづくり
- ローカル鉄道活性化フォーラム
  テーマ：鉄道は地域のランドマーク
- 鉄道観光資源活用セミナー
  テーマ：鉄道系学芸員から見た、鉄道観光資源
- パネルディスカッション 新・湯治と鉄道
- 鉄道図書の紹介

パネル展

起～北海道を拓いた鉄道
承～最盛期の鉄道
転～転換期の鉄道
結～そして未来の鉄道
北海道鉄道地図

2018年11月10日(土)・11日(日)

入場無料 10時～18時　11日は16時まで

北海道庁赤れんが庁舎　2階 1号および2号会議室

「釧路・根室の簡易軌道」展

特別協力：釧路市立博物館

主 催　北海道鉄道観光資源研究会
協 賛　(株)日本旅行北海道　(一社)噴火湾とようら観光協会　(一社)あびら観光協会　そらち温泉ネットワーク協議会　(株)北のたまゆら　鹿部温泉観光協会　妹背牛温泉ペペル
協 力　岩内町郷土館(ぱとりあ岩内)　狩勝高原エコトロッコ鉄道　(公社)土木学会北海道支部　(公社)日本都市計画学会北海道支部　岩見沢赤電保存会　(株)あるた出版　(株)米倉商店　(株)札幌駅立売商会　soranoatelier　日章堂印房　せたな町教育委員会　札幌市交通局　(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構北海道新幹線建設局　空知総合振興局　せたな町
後 援　北海道150年事業実行委員会　豊浦町　安平町

（順不同）

北海道鉄道観光資源研究会 展示博覧会　ステージイベントのご案内

内容等変更になる場合がございます。ご了承ください。

11/10

【都市計画学会北海道支部セミナー　10：00～予定】

テーマ：鉄道資産を生かしたまちづくり

パネラー　石川 孝織 氏　（釧路市立博物館 学芸員）
堀 雅志 氏　（増毛町長）
杉本 武勝 氏　（陸別町商工会 事務局長）

【ローカル鉄道活性化フォーラム　13：00～予定】

テーマ：鉄道は地域のランドマーク

パネラー　鳥塚 亮 氏　（NPO 法人おいしいローカル線をつくる会 理事長、前いすみ鉄道社長）
山田 和昭 氏　（津エアポートライン（株）、元若桜鉄道社長）
コーディネーター　大熊 一精　（北海道鉄道観光資源研究会 副代表）

【パネルディスカッション 新・湯治と鉄道　15：30～予定】

パネラー　盛田 昌彦 氏　（鹿部町長）
鳥塚 亮 氏　（NPO 法人おいしいローカル線をつくる会 理事長、前いすみ鉄道社長）
永山 茂　（北海道鉄道観光資源研究会 代表）
コーディネーター　水倉 真彦　（北海道鉄道観光資源研究会 バス部会長）
林 克弘　（北海道鉄道観光資源研究会 温泉部会長）

【鉄道図書の紹介　17：00～予定】

パネラー　原田 伸一 氏　海峡の鉄路 青函連絡船、函館・道南鉄道ものがたり
久保 ヒデキ 氏　定山渓鉄道
佐藤 優子 氏　”日本一貧乏な観光列車”が走るまで　「ながまれ海峡号」の奇跡

11/11

【鉄道国際交流セミナー　10：00 ～予定】

テーマ：“追分”からはじまる国際交流～鉄道文化の創造は世界をつなぐ～
主　題：國際交流從”追分”開始～鐵路文創、連接世界～

パネラー　佐藤 秀典 氏　（国土交通省北海道運輸局鉄道部長）
周 学佑 氏　（台北駐日経済文化代表處札幌分處處長）
及川 秀一郎 氏　（安平町長）
コーディネーター　石川 成昭　（北海道鉄道観光資源研究会 会員）

【鉄道観光資源活用セミナー　12：00～予定】

テーマ：鉄道系学芸員から見た、鉄道観光資源

パネラー　岡部 卓 氏　（岩内町 木田金次郎美術館）
伊藤 大介 氏　（ニセコ町 有島記念館）
佐藤 卓司 氏　（小樽市 小樽市総合博物館）
持田 誠 氏　（浦幌町 浦幌町立博物館）
石川 孝織 氏　（釧路市立博物館 学芸員）
コーディネーター　原田 伸一　（北海道鉄道観光資源研究会 顧問）

【ローカル鉄道活性化フォーラム　13：30～予定】

テーマ：鉄道は地域のランドマーク

パネラー　山田 和昭 氏　（津エアポートライン（株）、元若桜鉄道社長）
鳥塚 亮 氏　（NPO 法人おいしいローカル線をつくる会 理事長、前いすみ鉄道社長）
コーディネーター　大熊 一精　（北海道鉄道観光資源研究会 副代表）

北海道鉄道観光資源研究会について

「道内各地に残された鉄道の遺構や痕跡は未来に継承すべき貴重な財産である」との考えから、それらの保存や活用に関する諸活動を「観光資源」と捉えて、各地で活動する諸団体と連携しながら、調査研究活動をはじめ、さまざまな取組を進めています。

2015年には、第9回産業観光まちづくり大賞（主催：公益社団法人日本観光振興協会）で銀賞を受賞しました。

活動例

〇クラウドファンディングを活用した「キハ183系車両」の保存（安平町）

〇クラウドファンディングを活用した「赤い電車」の保存・展示・整備（岩見沢市）

〇道内関係団体と協力・連携した「北海道鉄道の日」の制定

〇北斗星車両保存プロジェクトへの技術協力（北斗市）

〇長沼町と連携した保存SL整備

〇北海道の鉄道遺産文化等を発信するパネル展の実施

会員数　107名（2018年1月1日現在）

代表者　永山　茂　（㈱日本旅行北海道　地方創生推進室長）

事務所　札幌市中央区北2条西2丁目　札幌2・2ビル1階 ほっとバス内

発表会のあゆみ（2015～2016年）

当会では、多くの方々に北海道の鉄道に関する全般に対しより身近に感じていただくことを目的に、2015年より、パネル展示や鉄道模型の運転などを行う発表会を開催してきました。

2015年

開催日：10月17日（土）・18日（日）
開催場所：社会福祉法人湖星会特別養護老人ホーム　ラスール苗穂
内容：鉄道写真展・鉄道模型走行会・北海道の鉄道文献の紹介等

初回は、JR苗穂駅に近く、また、テラスから函館本線の線路を見ることのできる特別養護老人ホーム内にて開催しました。鉄道写真の展示や鉄道模型の運転などを行うことにより、外出の機会が少ない入居者の皆様に楽しんでいただくとともに、施設を一般の方々にも開放してご見学いただきました。

2016年

開催日：11月26日（土）・27日（日）
開催場所：小樽市運河プラザ三番庫
内容：鉄道写真展・鉄道模型走行会・当会活動紹介パネル展示等

2回目となった2016年は、北海道の鉄道の発祥の地である小樽市にて開催しました。前年度よりも規模を拡大し、また、会場を観光客の方々も訪れることの多い運河プラザとしたことで、より多くの方々にお愉しみいただけるような企画（鉄道模型での夜行列車情景の再現など）を取り入れました。

発表会のあゆみ（2017年：パネル展）

2015～2016年は当会独自の成果発表会として開催してきましたが、2017年は、北海道150年事業応援企画として北海道のご協力をいただき、また、自治体・民間企業・公的機関や関連諸団体の皆様のご協力も得て、パネル展「北海道の鉄道・過去・現在・未来」として、北海道庁赤れんが庁舎にて開催しました。

場所柄、かならずしも鉄道に関心のない方がたまたま訪れることも考慮し、鉄道ファン向けではなく、より幅広い方々が鉄道に親しめる機会をすること、鉄道を通じた地域のあり方に思いを馳せていただけることを目指して、展示内容を工夫しました。

発表会のあゆみ（2017年：パネル展）

2017年開催
「北海道の鉄道　過去、現在、未来」

開催日：11月25日（土）～26日（日）
開催場所：北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎）第1会議室
来場者数：2,900名（2日間）
内容：
①北海道の鉄道の歴史と未来を説明したパネル（21点）展示
②当会活動内容紹介パネル（5点）展示
③釧路市博物館協力「釧路・根室簡易軌道」パネル（20点）展示
④土木学会北海道支部協力「鉄道関連土木遺産」タペストリー（9点）展示
⑤岩内町郷土館協力「日本最古のレール」の実物展示
⑥豊浦町フォトコンテスト「小幌駅」入賞作品15点の展示
⑦鉄道模型走行展示（パネル内容の説明と合わせた「行動展示」）
⑧当会実施の赤い電車保存プロジェクトで保存した列車内の一部再現展示
⑨北海道の鉄道に関わるモニター上映

協賛　豊浦町　㈱日本旅行北海道　SUTADIO MASSA　㈱アンビックス
協力　岩内町郷土館、釧路市博物館、（公社）北海道土木学会　㈱北海道博報堂
富士フィルムイメージング㈱
後援　北海道150年事業実行委員会